

令和7年度 校長より ⑧

本校 100 周年記念誌にたどり着いたことが連絡のきっかけだったようです。筑波大学4年の女子学生さんが8月29日（金）にお一人で来校されました。現在、明治以降の我が国の軍事教育について大学で研究されているとのことで、第一次世界大戦から第二次世界大戦頃までの時期に行われていた具体的な教育の状況について、横須賀地域の取組に着目して卒業論文を作成するとのことでした。これまで本校ではたちばな会（同窓会）のご協力により開校以来の歴史的教育資料の収集と保存を行ってきておりますので、学生さんには当時の本校での指導の様子が分かる日誌などをご覧いただきました。ご本人は校史資料室にある教育資料の数と種類の多さに驚嘆されるとともに、庶務日誌などを食い入るようにご覧になっていました。校史資料室の保存資料が世界的な教育研究の一助として世に出る第一歩になってくれることを心より願っています。

縦34 cm×横21 cmに渡る大きな紙面での記事となりました。9月5日（金）発刊読売新聞の地域版（神奈川県全域用）に、本校で明治期から長らく保管され続けてきた約3,000枚の絵はがきについて紹介する記事が掲載されました。これは、校史資料室に展示する戦前の資料を探していた際に社会科準備室の段ボールの中から発見されたものです。現在、たちばな会（同窓会）にご協力いただきながら、来年度創立120周年を迎える記念行事の一環として一般公開を目指しているところです。公開に至った暁には、皆様方に是非ともご覧いただければと思います。すでに一部は読売オンラインにも掲載されていますので、どうぞご確認ください。（<https://www.yomiuri.co.jp/stream/article/25983/> 「【戦後80年/昭和百年】歴史を語る絵はがき」 東京本社写真部 加藤学撮影 2025年9月4日公開）

前日までとは打って変わっての秋らしい陽気となりました。9月19日（金）と20日（土）は文化祭が行われました。初日は体育館でのオープニングセレモニーで幕開けし、その後生徒たちは宣伝用の衣装に身を纏いながら、各参加団体の企画や自分たちの発表を楽しんでいました。二日目は生徒の友人や保護者、中学生や地域・卒業生の方々などが来場されました。令和4年度に卒業されて昨年度ムエタイで世界チャンピオンになった藤原乃愛さんも駆けつけてくれました。最後は花火の打ち上げを持って文化祭の幕は閉じられました。藤原さんは10月5日（日）に横須賀アリーナで開催される「WBC ムエタイミニフライ級世界タイトルマッチ」に出場されます。在校生にとっては卒業生の活躍は大きな自信につながります。藤原さん、頑張ってください。皆さん、応援よろしくお願いします。

令和7年9月

神奈川県立横須賀大津高等学校 校長 幸田 隆